

記入例

(応募様式第1号)

平成28年7月〇〇日

吹田商工会議所会頭 寺西 重博 様
(三島地域活性化推進協議会事務局)

住 所 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
名 称 〇〇〇〇株式会社
代表者名 職名 代表取締役
氏名 〇〇 ×× 印

平成28年度 おおさか地域創造ファンド 三島地域支援事業助成金 応募申請書

標記助成金について下記のとおり応募申請いたします。

記

1. 助成事業の目的及び内容

別添 事業計画書 (応募様式第2号) のとおり

2. 応募事業及び実施主体の区分

応募事業の区分		実施主体の区分	
①	地場産業の技術・製品を活かした事業	②	中央地域に主たる事業所を有する中小企業者

※事業区分は公募要領3. (1)の①～⑥、実施主体は4. の①～③について、それぞれ番号とその内容を記入。[例] ④地域人材を活用した事業、②中小企業者のグループ

3. 助成対象経費及び助成金交付希望額

(1) 助成対象経費 金 4,000,000円
(2) 助成金交付希望額 金 2,000,000円

4. 助成事業完了予定日 平成29年12月29日

事業計画書

1. 応募申請者の概要

個人 又は 個人事業者	氏 名 (屋号)	
	現 住 所	
	連 絡 先	TEL FAX E-mail
	創業予定者の場合の 創業予定日	平成 年 月
	創業予定者の場合の 創業形態	<input type="checkbox"/> 法人 (出資金等 万円) <input type="checkbox"/> 個人事業
	業種及び 事業の名称	
	事業所所在地 (予定)	
	予定従業員数	
	申請者略歴 (職務経歴、業務経験、 能力、資格等)	
法人 又は グループ ※ グループの場合は 応募様式第3号 及び第4号を 添付してください	名 称	〇〇〇〇株式会社
	代 表 者 名	職名 代表取締役 氏名 〇〇 ××
	法人の住所	〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 URL http://www.mydome.jp/aopf/region.html
	連 絡 先	担当者 職名 管理部長 氏名 〇〇 △△ TEL 〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 FAX 〇〇-〇〇〇-△△△△ E-mail 〇〇@〇〇〇. 〇〇. 〇〇
	資 本 総 額	10,000千円
	主たる株主 及び出資割合	株主名: 〇〇×× 出資割合: 80%
	従 業 員 数 (うちパート、アルバイト)	10(7)人
	業 種 及 び 事 業 概 要	【衣料・その他の繊維製品製造業】 昭和54年に創業し、現在まで各種の〇〇製造・卸売販売業者として、地域の発展に貢献してきました。

2. 応募事業の内容

<p>①事業の名称</p>	<p>〇〇地域の〇〇繊維を活かした新商品△△△の開発及び販路開拓</p>
<p>②事業の概要</p> <p>※ 400字程度で簡潔に記載してください。 ※ どのような地域資源を活用したビジネスかを必ず記載してください。</p>	<p>〇〇地域は、古くから〇〇繊維の産地として栄え、現在も地元企業が協力して伝統を残しつつ、新しい商品開発を模索しています。</p> <p>そこで、当社の強みである□□□技術を用い、〇〇繊維を使った新商品△△△を開発します。</p> <p>新商品△△△は、□□□技術により□□□することで、□□□の際などにおける利便性の飛躍的向上が見込まれ、〇〇繊維のもつ□□□も最大限に活かすことができます。また、地域を代表するデザイナー□□××氏と協力し、高級感あふれる新商品として、大阪府内をはじめ、全国の富裕層をターゲットにこの事業を展開します。</p> <p>□□□に便利な新商品△△△を大阪〇〇地域発のブランド商品として全国展開していくことで、〇〇地域の〇〇繊維の知名度を高めるとともに、地域の新たな雇用を生み出すなど地域を活性化させ、地域の発展に貢献していきます。</p>
	<p>③事業の目的や必要性、期待される効果</p> <p>現在、繊維産業は安い海外製品の影響で、大変苦しい状況に追い込まれています。安い海外製品に対抗するには、高度な技術により真似のできない、また、日本の良質な素材を活かして高級感を出すなど、付加価値を高める必要があります。</p> <p>地域資源である〇〇繊維を使った新商品を開発し、販路を拡大していくことで、〇〇繊維の優位性がさらに認められ、他の〇〇繊維を使った関連商品の売上増にもつながり、地域の活性化が期待されます。</p>
	<p>④事業にチャレンジする経緯、動機、アピールポイント</p> <p>安い海外製品に対抗するため、何か新しい商品開発ができないか検討していたところ、国や地方自治体などで地域資源を活かした新しい取組に対する支援があることを知り、当社の技術と地域資源である〇〇繊維を使った新商品の開発にチャレンジしようと考えたのがきっかけです。</p> <p>当社の長年培ってきた技術力と豊富な人材には自信があり、新商品△△△は地域を元気にすることができるものと確信しています。</p>
<p>⑤顧客及び市場及び製品（商品）・サービスの内容・提供方法、特徴・優位性</p>	<p>新商品△△△は、大阪府内をはじめ全国の富裕層をターゲットにしたいと考えています。(海外の高級ブランドから国内の匠の一品へ)</p> <p>また、雑誌などの通信販売だけでなく、ネットで受注できるシステムを構築し、販路の拡大に努めます。</p>

どのような地域資源を活用して、誰に、何を、どう提供するビジネスか、事業の全体像を記入してください。
(図の活用も可)

創業予定者の方は、過去に行っていた事業又は現在行っている他の事業その他の過去の経験を記載の上、その経験を今後どのようにこの事業へ活かしていくのか詳しくご記入ください。

対象とする顧客や市場、また、商品やサービス内容等について具体的に記入してください。
特許取得予定等知的財産活用などもあれば記入してください。

⑥新規性、革新性、成長性の自己評価
 ※自社・他社も含め、旧来の商品・サービス等との違い、類似・競争事例の有無について、できるだけ詳しく具体的に記載すること。

〇〇繊維を使った商品は、今まで▲▲▲や□□□などがありましたが、新商品△△△は〇〇〇〇を特長とした、今までにないスタイルの商品であり、競争優位性があります。
 新商品△△△は、富裕層をターゲットにしているため、今後日本だけでなく、中国を中心としたアジア諸国の富裕層の獲得も見込めます。

連携先企業、研究機関、支援者などの社外協力者の役割、主要外注先等の状況、社内の主要な研究者やプロジェクトリーダー、社外協力者の知見や能力の活用状況等について記入してください。

旧来の商品・サービス等の違い、類似・競争事例の有無について、できるだけ詳しく具体的に記入してください。

⑦事業の実施体制(内部の実施体制、外部との連携体制、事業に必要な経営資源の状況など)
 営業部門の強化をはかるとともに、〇〇〇〇チームを立ち上げ、新商品の開発及び販路開拓の拡大に努めます。
 新商品のデザインを、地域を代表するデザイナー□□××氏に依頼し、充実をはかります。

⑧許認可等の規制の有無
 特になし。事業にあたって関係する主な法規制と、その申請や許認可の状況、課題などについて記入してください。

⑨地域活性化への波及効果
 地域資源である〇〇繊維を使った新商品を開発し、販路を拡大していくことで、〇〇繊維の優位性がさらに認められ、他の〇〇繊維を使った関連商品の売上増につながり、地域の活性化及び雇用の促進が期待されます。
 また、デザインも地域の優秀なデザイナーを起用することで、より地域に根ざしたブランド力を高めることができます。

⑩補助金の交付を受け
 補助金名：平成28年大阪府
 金額：7,000千円 指令NO：平成28年〇月〇日 大阪府〇〇〇号
 地域にとっての意義、地域イメージ向上への貢献、地域内での連携度、地域の中小企業への波及効果等について記入してください。

3. 新事業にかかる経営計画

(千円)

	平成28年10月 ～29年12月 (助成期間の15か月とします)	平成30年1月 ～30年12月	平成31年1月 ～31年12月
①売上高	40,000	100,000	150,000
②売上原価	20,500	32,500	40,000
③売上総利益 (①-②)	19,500	67,500	110,000
④販売費及び 一般管理費	10,000	20,000	28,000
⑤営業利益 (③-④)	9,500	47,500	82,000
⑥売上高内訳	△△ : 1,000×@10 ▲▲ : 1,500×@20	▲▲ : 5,000×@20	▲▲ : 5,000×@30

※ グループで実施する場合は、合算した数値を記載してください。

※ ⑥売上高内訳には、販売する商品・サービス価格や販売先等の具体的な内容を記載してください。

4. 応募事業の実施計画（事業完了日までのスケジュール）

時期(年月)	実 施 内 容
28年10月	社内〇〇〇〇チームの立ち上げ
11月	専門家による新商品についてのアドバイス
12月	マーケティングを行い、商品のニーズの把握 新商品のデザイン契約
29年1月	機械装置の購入
4月	試作品の完成
8月	広告媒体を使っての新商品PR
10月	新商品の生産開始

5. 資金計画

(千円)

事 業 費 (A)	助 成 対 象 経 費 (B)	助成金交付希望額 (C)	自 己 資 金 額 (調達方法) (D)
5,000	4,000	2,000	2,000 (銀行借入) 1,000 (自己資金)

※ (A) = (C) + (D)、(C) = (B) × 助成率（千円未満切捨て）となるよう記載してください。

6. 助成対象経費の内訳

事業区分	内 容	助成対象経費 (円)	助成金交付 希望額(円)
1. 製品・技術 開発	①専門家謝金（新商品開発アドバイス） @100,000×5回 =500,000	500,000	250,000
	②一部を委託する経費（外注加工費） = 80,000	80,000	40,000
	③原材料費（試作品製作） =300,000	300,000	150,000
	④デザイン料 =1,660,000	1,660,000	830,000
	【区分小計】	2,540,000	1,270,000
2. 販路開拓	①マーケティング調査費用 =500,000	500,000	250,000
	②広告宣伝費（雑誌「〇〇〇〇」掲載料） =960,000	960,000	480,000
	【区分小計】	1,460,000	730,000
3. 人材養成			
【区分小計】			
4. その他事業			
【区分小計】			
5. 事務費			
【区分小計】			
合 計		4,000,000	2,000,000

※ 助成金交付希望額は、事業区分毎の助成対象経費に助成率を乗じた額を限度とします。また、合計欄については、事業区分の額を合算した額で、千円未満を切り捨てた額とします。

※ 助成対象経費、助成金交付希望額の合計は、「5. 資金計画」の当該年度分(B)、(C)欄と一致させて下さい。